

5

ジェネリック医薬品を使ってみたいけど、どうしたらいいの？

ジェネリック医薬品の使用については、まず医師に相談してください。
 医師からジェネリック医薬品の処方に同意が得られたら、処方せんを薬局に持って行きましょう。
 薬局でも、薬剤師にジェネリック医薬品を希望することを伝えてください。
 薬局では、在庫している医薬品の中からジェネリック医薬品に変更してくれます。
 ※在庫が無くて、近隣の薬局等から取り寄せてくれる場合があります。



6

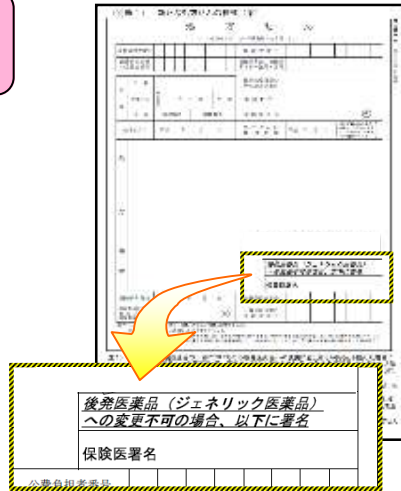
医師・薬剤師に相談しにくいのですが…

医師・薬剤師は、患者にとって最適な医療を提供する義務があります。治療やお薬のことで悩むこと、わからないことなどありましたら、相談するようにしましょう。



なお、本年4月に処方せんの様式が変更されました。医師は、ジェネリック医薬品への変更ができないと判断した場合には、処方せんに署名等をする必要があります。

医師に相談しにくい場合であっても、備考欄に医師の署名等がなければ、薬局で薬剤師に相談の上、ジェネリック医薬品に変更することができます。



- ！ 保険医療を担う医師・薬剤師には、守るべき法令（それぞれ、療担規則、薬担規則と呼ばれています。）があります。本年4月、この法令に、ジェネリック医薬品の使用に係る努力規定が明記されました。
 医師：「投薬を行うに当たっては、…後発医薬品の使用を考慮しなければならない。」
 薬剤師：「…、保険薬剤師は、後発医薬品を調剤するよう努めなければならない。」

7

ジェネリック医薬品に変更してもらえない場合がありますか？

- ！ 先発医薬品によっては、ジェネリック医薬品が発売されていないものがあります。 ⇒ 先発医薬品の特許期間が終了し、ジェネリック医薬品が発売されるまで、お待ちください。
- ！ 病気や体質によっては、医師の判断により、先発医薬品からジェネリック医薬品に変更できない場合があります。 ⇒ 先発医薬品でのみ、認められている効能・効果があるため、ジェネリック医薬品を利用できない場合があります。
- ！ 医療機関や薬局により、取り扱っているジェネリック医薬品が異なります。 ⇒ 各医療機関・薬局では、それぞれの選定基準等により医薬品を採用（在庫）しています。
- ！ 薬局に在庫がないとき、お薬を用意するのに時間がかかる場合があります。 ⇒ 入手に時間がかかる場合、次回から使用する旨を伝えておけば、事前に用意してもらえます。



ジェネリック医薬品について、御理解いただけただけでしょうか？
 さあ、次は行動です。

医師・薬剤師にジェネリック医薬品の使用について相談してみましょう。
 「薬の選択権」は患者にもあるのです。



医療費適正化のために期待されている

ジェネリック医薬品

福岡県の現状

1人当たりの医療費

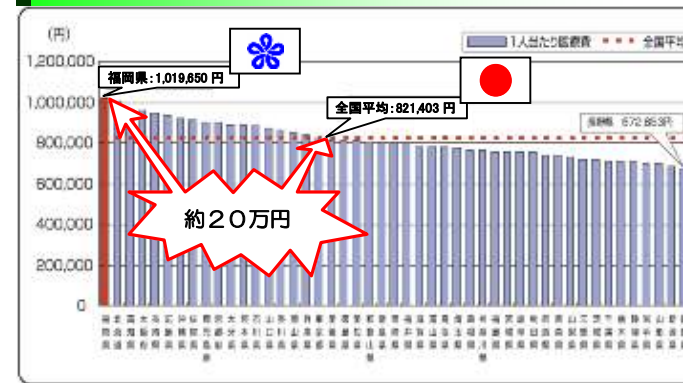
- ・ 全国第11位（平成17年度）
- ・ 全国平均に比べ、約4万円高い

1人当たりの年間医療費の推移



資料：「都道府県の医療費の将来見通しの計算方法ツール」（厚生労働省）

1人当たりの年間老人医療費の全国比較



資料：「都道府県の医療費の将来見通しの計算方法ツール」（厚生労働省）

1人当たりの老人医療費

- ・ 平成14年度から全国第1位
- ・ 全国平均に比べ、約20万円高い

全国的に見て高い位置にある本県の医療費を抑えることが急務



医療費の増加

- ⇒ 国・県の負担増
- ⇒ 個人負担（保険料）の増加

※本年4月から、共済組合の短期給付に係る掛金率が約0.6%増加

福岡県医療費適正化計画を本年4月に策定

国民皆保険制度を堅持し、良質で効率的な医療を提供する体制を維持し、将来にわたって持続可能な医療保険制度を構築するために、医療費が過度に増大することがないように「医療費の適正化」を図るものです。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/b02/iryuhitekiseika.html>



医療費適正化の取り組みの1つとして、「ジェネリック医薬品の普及促進」を掲げています。

目標：平成24年度までにジェネリック医薬品の普及率（数量ベース）を30%以上へ！



平成19年度の県内普及率：19.0%

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効き目をもつ医薬品でありながら、その価格が先発医薬品に比べて安いので、使用すれば、患者のお薬代が軽減されるとともに、国・県の負担する医療費が抑制されます。

「ジェネリック医薬品の普及促進」は、一人一人の行動が医療費削減に直結し、その効果が確実に現れることから、本県では重要な施策と捉え、「福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会」を平成19年に設置するなど、全国に先駆けて普及に取り組んでいます。

福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会のHP：<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/b02/gege.html>



ジェネリック医薬品Q&A

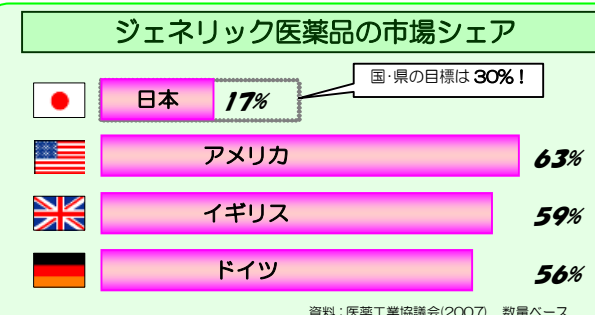
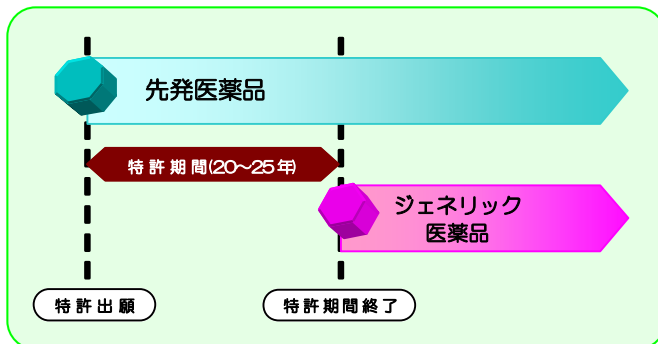
1

「ジェネリック医薬品」ってなに？

ジェネリック医薬品^{*}（後発医薬品）は、先に開発された薬（先発医薬品）の特許期間終了後に他のメーカーが、同じ有効成分・同じ効き目として申請し、国が承認した医薬品です。

現在、日本ではシェアが10数%とあまり使用されていませんが、欧米では、約50%のシェアを占めています（下図）。国は、ジェネリック医薬品の普及を積極的に推進しており、今後、日本でも一般的（ジェネリック）なお薬となることが予想されます。

*欧米では、後発医薬品を処方する場合、有効成分の一般的な名称（ジェネリックネーム）を記すことから、ジェネリック医薬品と呼ばれています。



2

効果や品質は大丈夫？

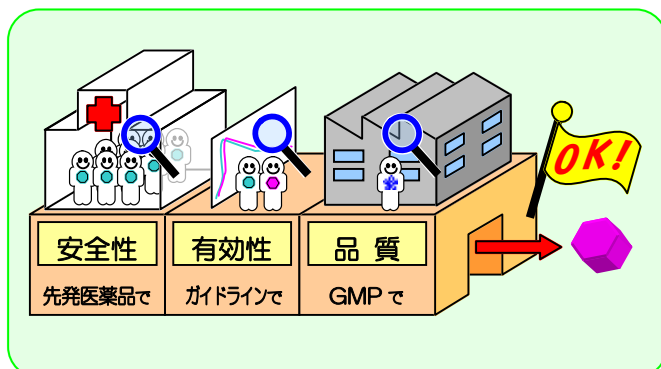
ジェネリック医薬品の安全性は、同じ有効成分を持つ先発医薬品が医療現場で長年使用されており、十分確認されています。

有効性は、飲み薬の場合、健康な人に先発医薬品とジェネリック医薬品を交互に投与し、有効成分が同等の速さ・量で血液中に入っていくか確認（生物学的同等性試験ガイドライン）しています。

品質は、製造する工場に対して、都道府県が定期的に査察を行い、GMP（医薬品の製造管理及び品質管理に関する基準）に適合していることを確認しています。

このように、ジェネリック医薬品ができるまでには、厳しい基準をいくつもクリアする必要があり、常に医薬品の安全性・有効性・品質は確保されています。

！いわゆる先発メーカーも、ジェネリック医薬品を製造・販売しています。
！先発医薬品の中には、いわゆる先発メーカーがジェネリックメーカーに製造を委託している製品もあります。

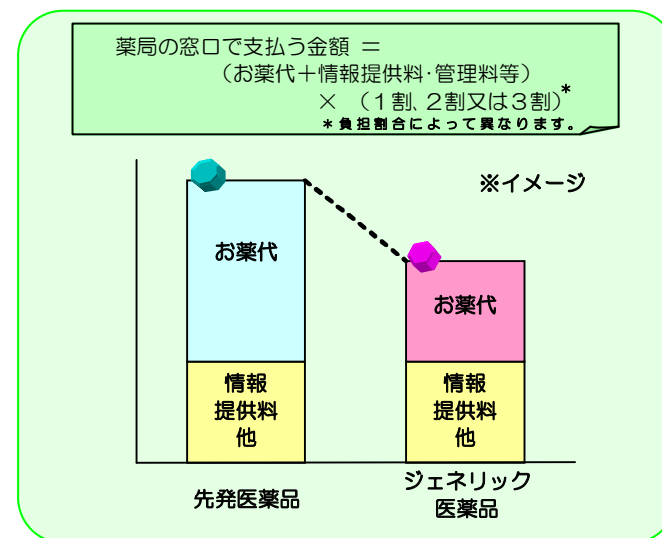


3

ジェネリック医薬品はなぜ安い？

先発医薬品は、病気の治療に有効な新規物質を探し、動物での試験やヒトでの臨床試験等さまざまな過程を経て、その安全性や有効性を確認した上で承認されます。この開発には、長い年月と巨額の開発費がかかります。

一方、ジェネリック医薬品は、先発医薬品で既に有効性や安全性が十分確認された有効成分を利用しているため、開発に必要な期間や経費を大幅に抑えることができます。このため、ジェネリック医薬品の公定価格（薬価）は、先発医薬品の約2～7割の価格に設定され、安くなるのです。



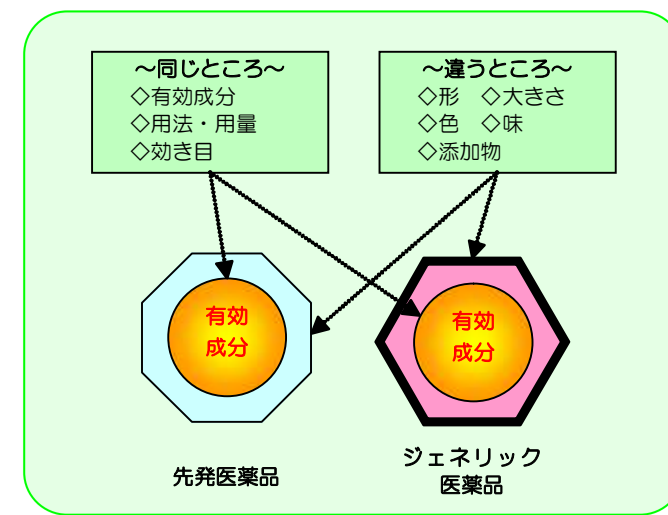
4

ジェネリック医薬品にメリットはあるの？

ジェネリック医薬品は先発医薬品の特許が切れた後に製造されます。

製剤技術の進歩により味やにおい、大きさを改良し、より飲みやすいものにしたたり、安定性を向上し、より扱いやすいものにするなどの独自の工夫を加えた製品もあり、このため、外観等が先発医薬品と異なる場合があります。

1つの先発医薬品に対し、たくさんのジェネリック医薬品が発売されていることもあるので、その中から自分にあったお薬を選ぶことができます。



先発医薬品をジェネリック医薬品に替えると、お薬代は安くなります。

右の2つの例は、1種類の先発医薬品をジェネリック医薬品に替えたときに、どれくらい自己負担額が削減されるか試算したものです。

たった1種類替えただけで、自己負担額を年間1万円以上削減することもできるのです。



※金額は、お薬代のみを計算した場合です。窓口での支払いには、これ以外に医師・薬剤師の技術料や検査料等がかかります。※あくまでも一例です。必ずしも同じ差額があるとは限りません。

高血圧症の場合（1日の投与量が1錠の例）

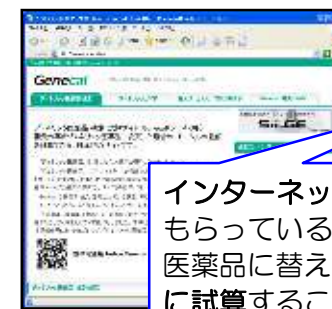
	薬価 (円)	お薬代の差額(3割負担の場合)	
		1ヶ月	1年
先発医薬品	168.9	▲1,080 (円)	▲13,140 (円)
ジェネリック	45.9		

エナラプリルマレイン酸塩錠 10mg の例です。同錠の場合、ジェネリック医薬品は複数発売されています。上記の他、58.9円、27.1円、25.1円及び15.4円のものがあります。（平成20年10月現在）

高脂血症の場合（1日の投与量が1錠の例）

	薬価 (円)	お薬代の差額(3割負担の場合)	
		1ヶ月	1年
先発医薬品	280.0	▲1,530 (円)	▲18,615 (円)
ジェネリック	106.2		

シンバスタチン錠 10mg の例です。同錠の場合、ジェネリック医薬品は複数発売されています。上記の他、196.5円、169.9円及び124.8円のものがあります。（平成20年10月現在）



インターネットを使えば、自分がもらっているお薬をジェネリック医薬品に替えたときの差額を簡単に試算することができます。

ジェネカル (<http://www.genecal.jp/>)